

クニミネ工業株式会社

2013年3月期
第2四半期 決算説明会



infinity

2012年12月3日

証券コード：5388

1 経営トピックス

2 2013年3月期第2四半期決算概要

3 2013年3月期通期見通し

4 中期経営計画

経営トピックス

- 自動車関連等、及び土木建築工事が好調に推移。
- 除染廃棄物対応への取り組みを強化。

(単位：百万円)

	2012年3月期中間	2013年3月期中間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	4,873	5,104	231	4.8%
営業利益	394	371	△23	△5.8%
経常利益	465	461	△4	△0.9%
当期純利益	300	280	△20	△6.9%

1 経営トピックス

2 2013年3月期第2四半期決算概要

3 2013年3月期通期見通し

4 中期経営計画

2013年3月期第2四半期決算概要

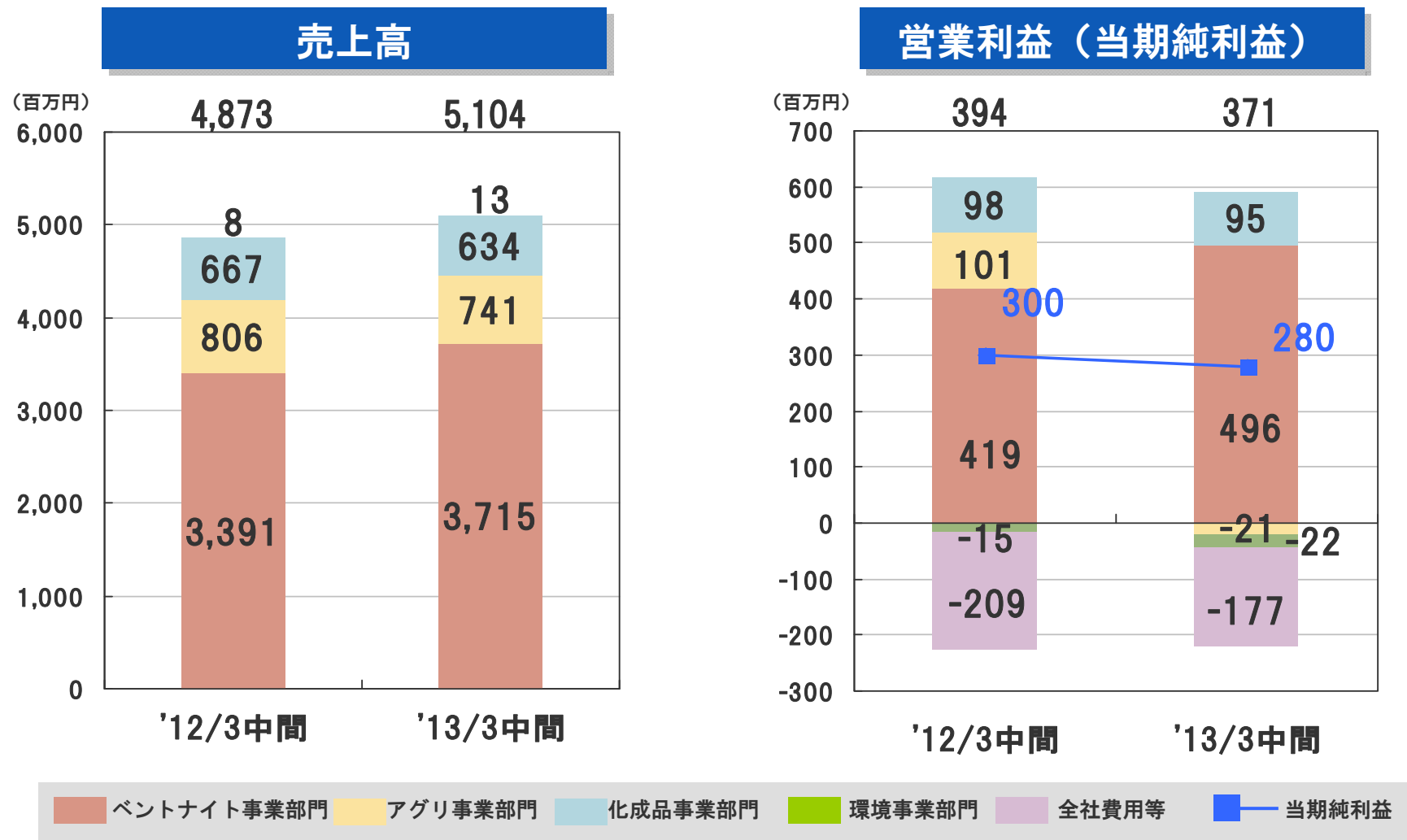
要約損益計算書（前年同期比）

（単位：百万円）

	2012年3月期中間		2013年3月期中間		前年同期比	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	4,873		5,104		231	4.7
売上原価	3,263	67.0	3,500	68.6	237	7.3
売上総利益	1,610	33.0	1,604	31.4	△6	△0.4
販売管理費	1,215	24.9	1,232	24.1	17	1.4
営業利益	394	8.1	371	7.3	△23	△5.8
営業外収益	98	2.0	109	2.1	11	11.2
営業外費用	27	0.6	19	0.4	△8	△29.6
経常利益	465	9.5	461	9.0	△4	△0.9
特別利益	7	0.1	22	0.4	15	214.3
特別損失	34	0.7	39	0.8	5	14.7
当期純利益	300	6.2	280	5.5	△20	△6.7

2013年3月期第2四半期決算概要

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移（前年同期比）



2013年3月期第2四半期決算概要

ベントナイト事業部門（前年同期比）

（単位：百万円）

	12年3月期中間	13年3月期中間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,391	3,715	324	9.6%
鋳物	1,974	2,158	184	9.3%
土木・建築	943	1,224	281	29.8%
ペット関連	473	333	△140	△29.6%
営業利益	419	496	77	18.4%
営業利益率	12.4%	13.4%		

■売上高

鋳物 ……自動車生産台数が回復し増。

土木・建築 ……震災関連需要の取り込みと地熱関係需要増により大幅増。

ペット関連 ……採算性を重視した結果、OEM取扱量の減少もあり大幅減。

■営業利益

売上増とコストダウンの推進により増。

2013年3月期第2四半期決算概要

アグリ事業部門（前年同期比）

（単位：百万円）

	12年3月期中間	13年3月期中間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	806	741	△65	△8.1%
営業利益	101	△21	△122	—
営業利益率	12.6%	—		

■売上高

郡山工場の取得により除草剤受注が増加したものの、震災の影響により生産が繰り越され増収となった前年同期の反動を補えず減。

■営業利益

上記に付随し減。

2013年3月期第2四半期決算概要

化成品事業部門（前年同期比）

（単位：百万円）

	12年3月期中間	13年3月期中間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	667	634	△33	△4.9%
営業利益	98	95	△3	△3.1%
営業利益率	14.8%	15.1%		

■売上高

止水材、環境保全処理剤が増収となったものの、精製ベントナイト(クニピア)は前年同期の震災による一時的な需要増分が無くなったこと等により減。

■営業利益

精製ベントナイト(クニピア)の売上減に付随し減。

2013年3月期第2四半期決算概要

環境事業部門（前年同期比）

（単位：百万円）

	12年3月期中間	13年3月期中間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	8	13	5	62.5%
営業利益	△15	△22	△7	—
営業利益率	—	—		

■売上高

1. 下水汚泥焼却灰の放射能汚染により、引き続き業務が制限されている。
2. 放射能汚染地域の除染対応を目的として、体制を強化。主に研究開発に注力。

2013年3月期第2四半期決算概要

要約貸借対照表（前年同期比）

（単位：百万円）

	12年3月期中間	13年3月期中間	前年同期比	
			増減額	増減率
流動資産	7,212	7,623	411	5.7%
現金及び預金	2,379	2,613	234	9.8%
受取手形及び売掛金	2,988	3,240	252	8.4%
たな卸資産	1,706	1,657	△49	△2.9%
固定資産	5,376	5,485	109	2.0%
有形固定資産	4,119	4,253	134	3.3%
無形固定資産	105	106	1	1.0%
投資等	1,151	1,125	△26	△2.3%
資産合計	12,588	13,109	521	4.1%
流動負債	1,827	1,649	△178	△9.7%
支払手形及び買掛金	561	644	83	14.8%
短期借入金	442	182	△260	△58.8%
固定負債	1,153	1,142	△11	△1.0%
長期借入金	147	190	43	29.3%
負債合計	2,980	2,792	△188	△6.3%
株主資本合計	9,540	10,199	659	6.9%
純資産合計	9,608	10,317	709	7.4%
負債純資産合計	12,588	13,109	521	4.1%

1 経営トピックス

2 2013年3月期第2四半期決算概要

3 2013年3月期通期見通し

4 中期経営計画

2013年3月期通期見通し

損益見通し

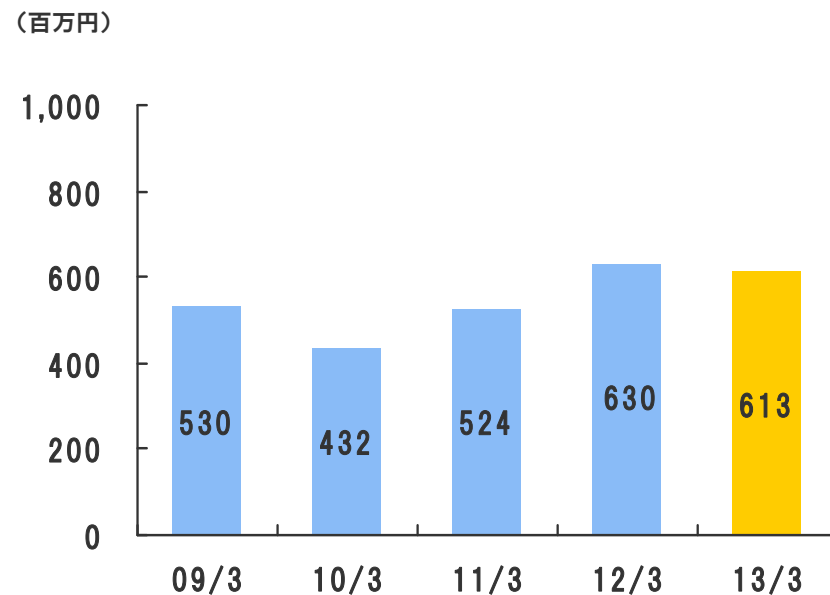
(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期（予）	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,282	11,109	△173	△1.5%
営業利益	1,245	1,017	△228	△18.3%
経常利益	1,403	1,147	△256	△18.2%
当期純利益	863	690	△173	△20.0%

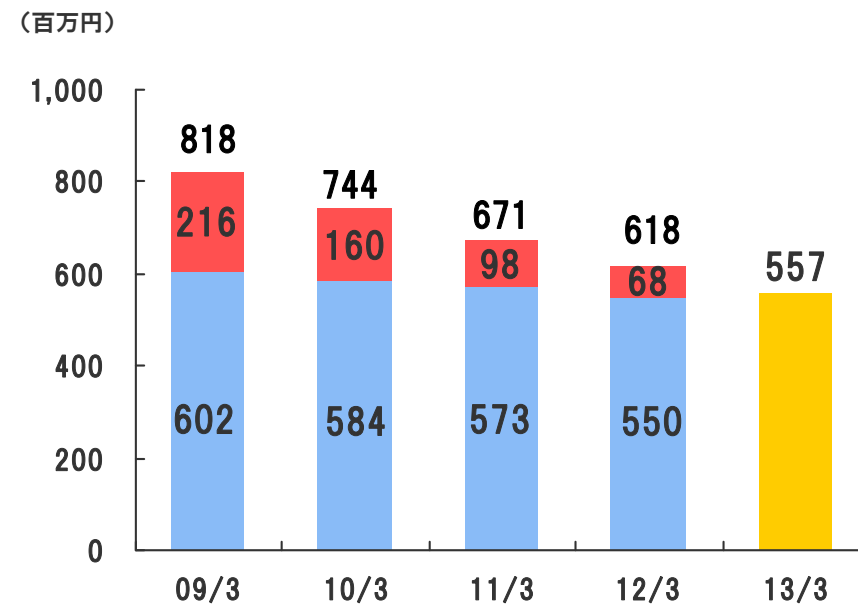
- 地熱関係の需要増と、放射能汚染物質処理向けの需要増を見込む。
- 中国、欧州等の落ち込みによる先行きの不透明感から業績予想は変更せず。

2013年3月期通期見通し

設備投資額



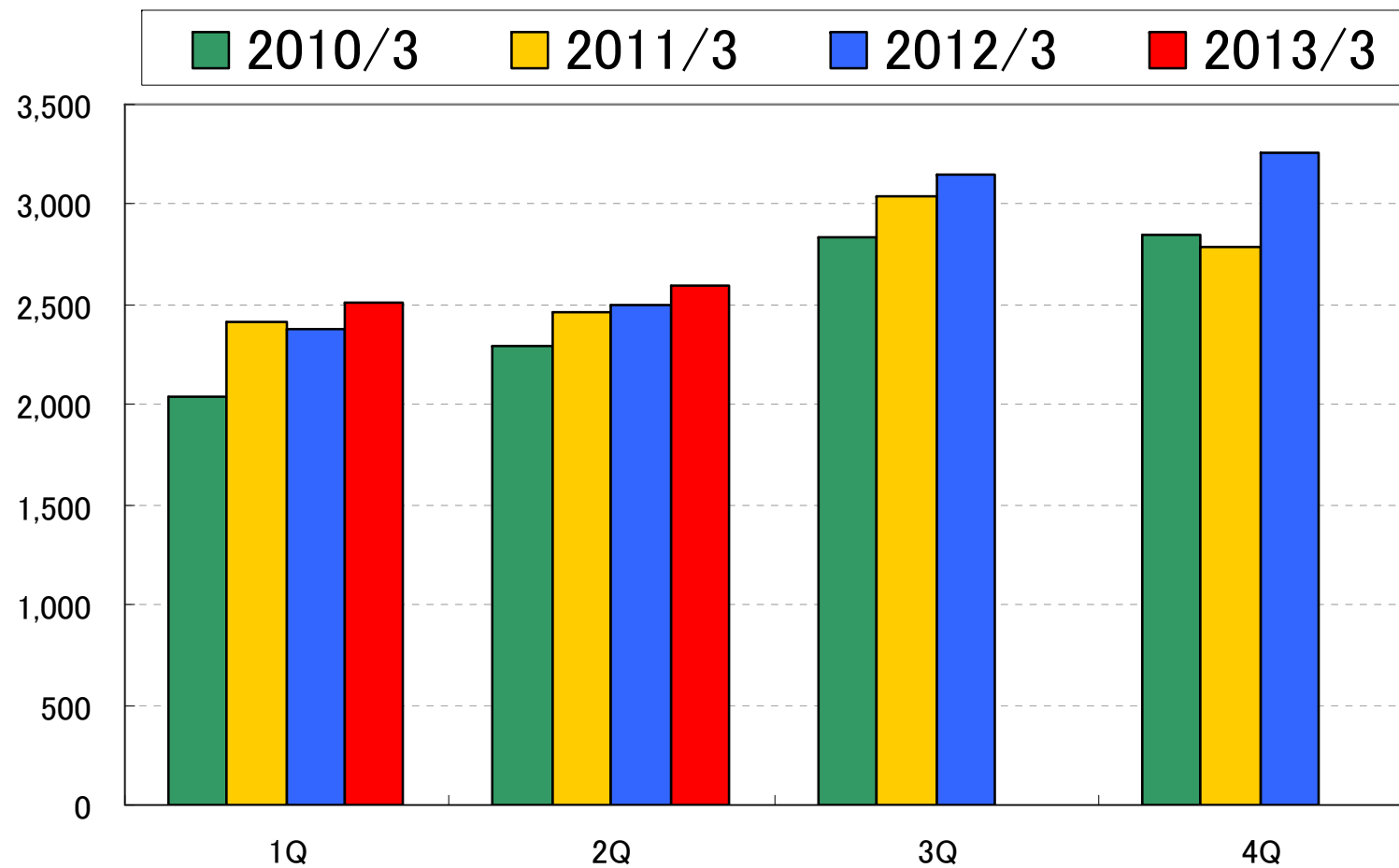
減価償却費



※ グラフの赤部分は、
リース資産に係る減価償却費であります。

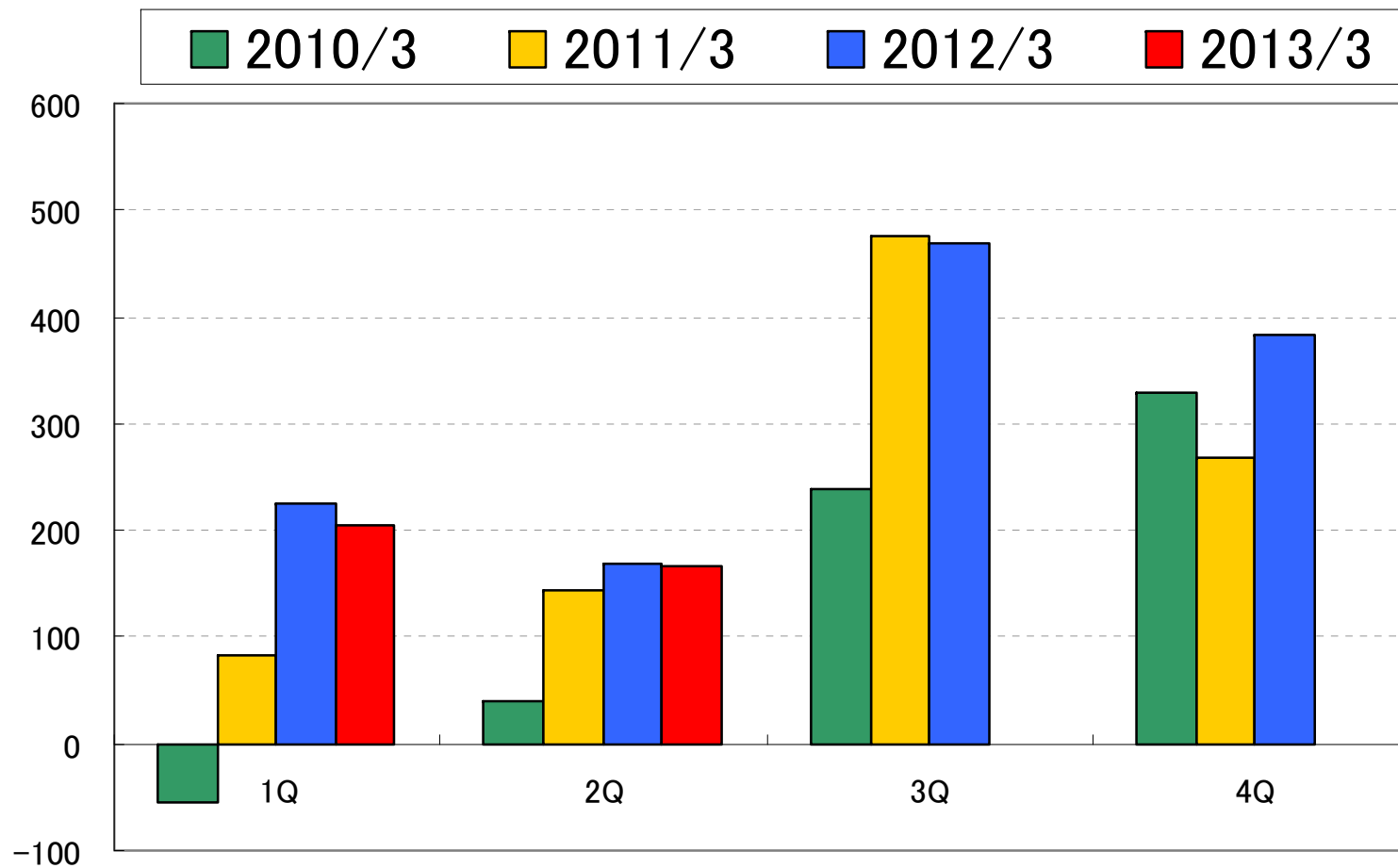
参考資料 各四半期の売上高推移

(単位：百万円)



参考資料 各四半期の営業利益推移

(単位：百万円)



1 経営トピックス

2 2013年3月期第2四半期決算概要

3 2013年3月期通期見通し

4 中期経営計画

中期経営計画について

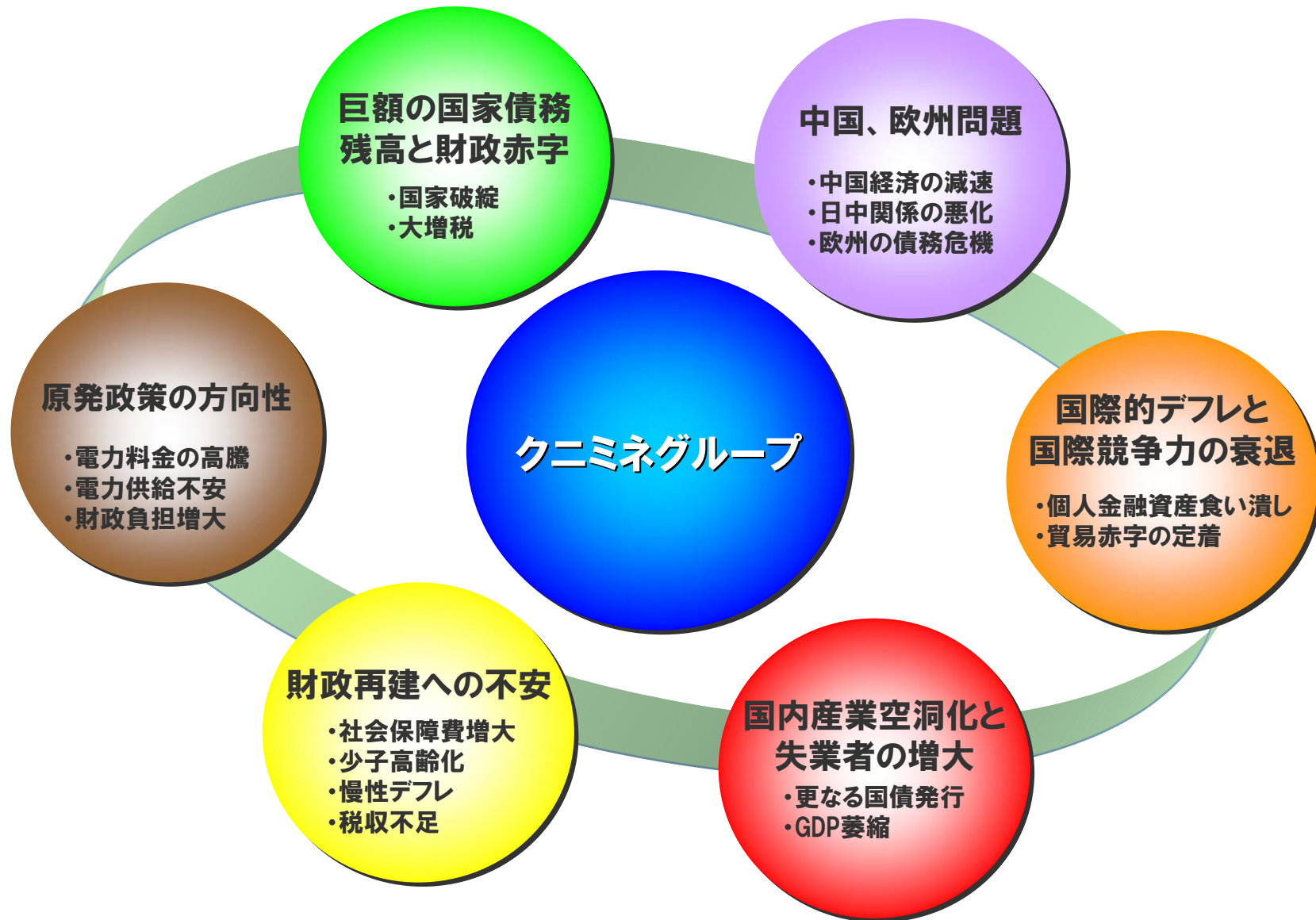
当社グループでは、2012年3月期～2014年3月期の中期経営計画を策定し、実行してまいりました。

基本戦略は継続して実施しておりますが、目標数値は既に達成してしまったことから、今後の経済情勢、事業環境等を踏まえ、新たな中期経営計画を現在策定中があります。

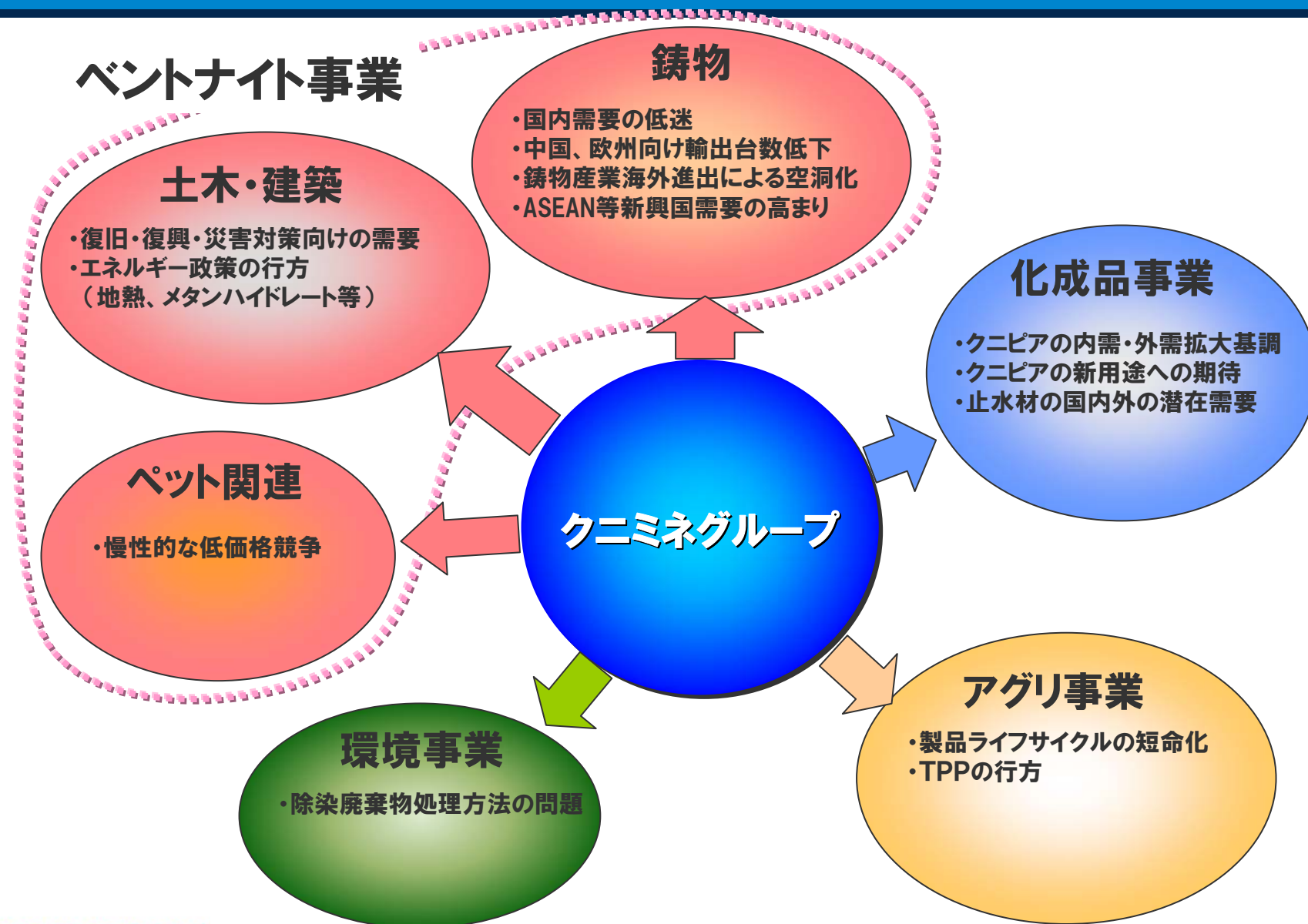
次回の決算説明会で発表させて頂く予定でありますので、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

なお、今回は当社グループを取り巻く事業環境について説明させていただきます。

事業環境①



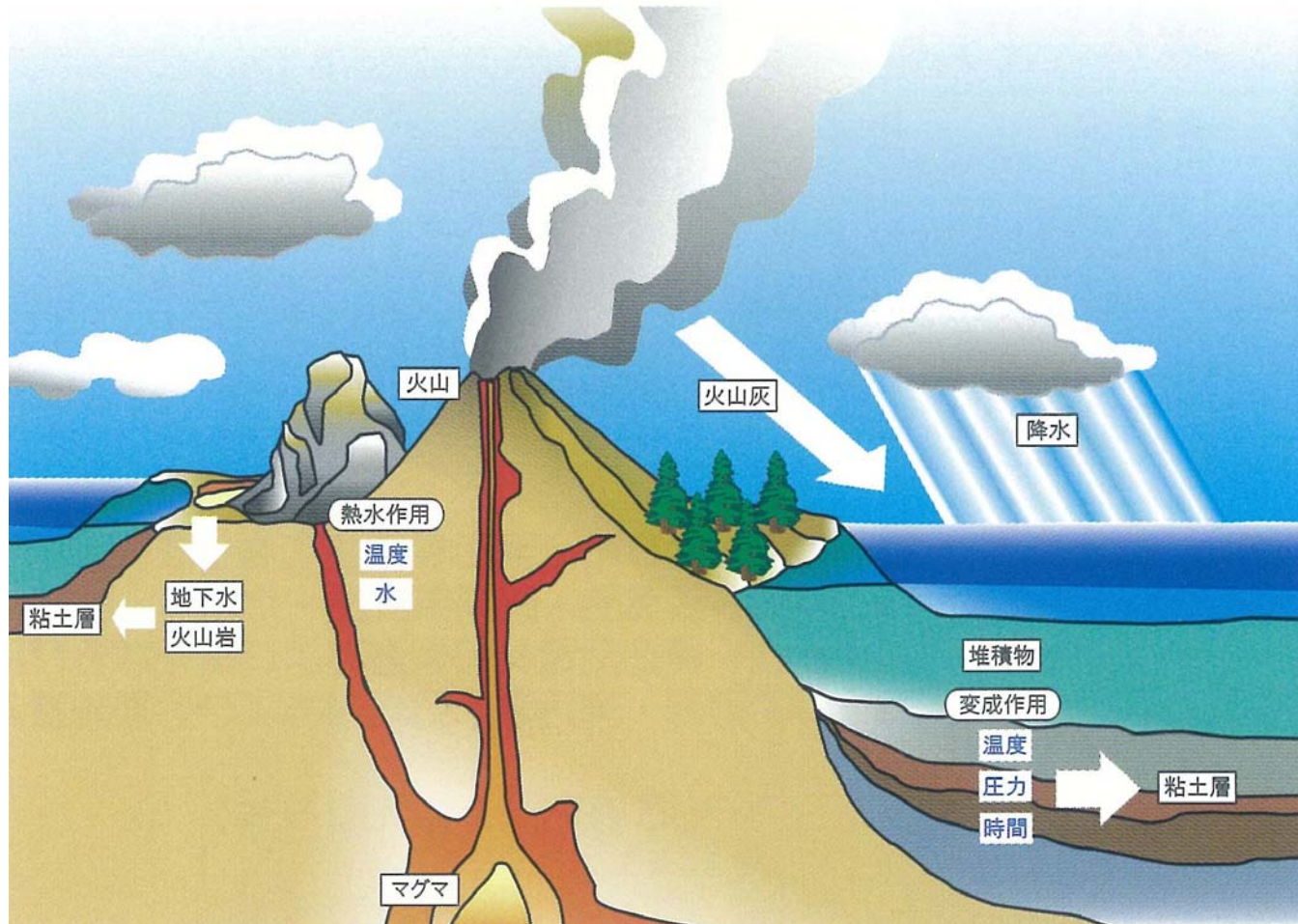
事業環境②



参考資料 ベントナイト事業部門について

☆ ベントナイトができるまで

海底・湖底に堆積した火山灰や溶岩に、ある程度の温度や圧力が数千万年という長い期間にわたって加えられたことで、分子レベルでの構造変化が生じ、鉱物集合体であるベントナイトは生成されます。つまり幾多もの条件がそろったことで奇跡的に作られた“地球からの贈り物”といえます。



参考資料 ベントナイト事業部門について

1. ベントナイトとは？

ベントナイトとは海底・湖底に堆積した火山灰や溶岩が変質することで出来上がった粘土鉱物の一種です。“ベントナイト”という名称は、岩石名（鉱物集合体の総称）であり、その成分は地域や場所によって異なります。

成分構成としてはモンモリロナイトという鉱物を主成分とし、他に石英や長石、雲母、ゼオライト等の鉱物を含んでいます。多くの鉱物が混ざっていますが、モンモリロナイトの持つ特異的な物性そのままベントナイトの物性となっております。



2. ベントナイトの物性

ベントナイトの主成分であるモンモリロナイトの結晶は、特異的な構造をしており、そのため多種多様な特性を持っています。また、Na型とCa型の2種類があり、それぞれ有する特性が違うので用途によって使い分けされています。

○ベントナイト物性○

膨潤性
増粘性、粘結性
吸水性、吸着性
懸濁安定性
陽イオン交換性
チクソトロピー性

○Na型とCa型の違い○

Na型: 特に膨潤性・増粘性・懸濁安定性に優れている。
Ca型: 特に粘結性に優れている

3. ベントナイトの用途

皆さんが日常生活でベントナイトを使用するという事は無いと思いますが、実は知らない所で様々な分野にて使用されています。

○ベントナイト使用分野及びその用途○

鑄物分野: 生型用粘結剤
土木分野: 基礎工事用泥水
建築分野: 浸入水防止用止水材
化粧品分野: 増粘剤、分散剤
ペット分野: ペット用トイレ砂
農薬分野: 粘結剤、分散剤

4. ベントナイトの安全性

ベントナイトは完全無機鉱物なので、それ自体が腐敗することはありません。土壤環境基準や日本薬局方などの基準に合致しており、人体にも環境にも優しい材料であることが保証されています。

5. ベントナイトの新展開

ベントナイトの主成分であるモンモリロナイトは、水系条件下においては左記特性を発揮するのですが、油系（有機系）条件下では思惑通りにいきませんでした。その点を克服するべく開発を進め、ベントナイトの親油化（親有機化）が実現されています。これにより有機溶媒や樹脂への分散が可能となり、新たな用途展開へと繋がりました。また樹脂の物性向上方法として期待されているナノコンポジット分野においてもベントナイトの性能は評価されており、新技術の立役者として今後注目されていくと考えられます。



トルエンへの分散比較
左: 通常品 右: 親有機化学品

参考資料 アグリ事業部門について

造粒・製剤というもうひとつの固有技術

農薬の製造にあたっては、薬の原体は化学メーカーなどが開発・製造しますが、それを最終的な農薬の形にするのは製剤メーカーの担当となっています。クニミネ工業では当初、ベントナイトを粒状にしてそれに農薬原体をしみこませることによって、薬効成分が放出される速度や量をコントロールする、ベントナイトの応用製品を手がけていました。



最近では、原体そのものや農薬送達システムなどの研究開発が進み、農薬分野でのベントナイトの使用量は減少してきましたが、クニミネ工業はそこで粒をつくるための造粒技術や農薬の製剤技術を着実に蓄積していきました。

このようなノウハウを駆使した製品のひとつに、「はじける農薬」があります。これは、原体を水溶性のバインダーと混ぜ合わせてそのなかに空気を押し込み、まわりをノリでコーティングして細かい粒状にしたもの。一度水に沈んだ粒が浮上し、そこでまわりのノリが溶けることによって、薬用成分が水面に拡散するようになっています。これは、水田での除草剤など主に使われていますが、こうした技術によってクニミネ工業は、海外の大手化学メーカーからも農薬の加工を受注しています。

農薬になぜ造粒が必要なのだろう

- ① 除放の目的場所に確実にまくことができ、作物が生育中でも地面にちゃんと届く
- ② 作物の茎や葉への付着がほとんどなく、接触による薬害を防ぐことができる
- ③ 微粉が飛ばないので周辺の環境や農作物への汚染を避けることができる
- ④ 微細粉付着、吸入、誤飲、誤食などによる事故が少ない
- ⑤ 機械散布などによって、扱いが簡単になる
- ⑥ 主剤の放出調節がかなり可能になり、農薬の効果改善や薬害軽減が図れる

造粒の効果ベスト10

第1位 流動性が高い

粒はさらさらとして流動性がよいので、生産や輸送の際に取扱いやすいし、自動化も簡単

第2位 環境にやさしい

粉体に比べて発塵がほとんどないので、周囲の環境への汚染が防げる

第3位 品質の均一化を図れる

粉体の複数成分の間に密度や形状の差があった場合、均一にまざらないおそれがある。そのためにそれぞれの粉体を造粒しておくことで、品質の均一化を図れる

第4位 流体抵抗を少なくする

触媒や吸着剤など気体と液体との接触を前提とする製品では、流体抵抗を減少させる目的で造粒されることが多い

第5位 水に溶けやすい

洗剤など、水に溶解する必要のある製品では、顆粒状のほうが溶けやすい

第6位 かさ密度の調整が可能

造粒することによってかさ密度がコントロールしやすく、輸送、貯蔵、包装などでコンパクト化できる

第7位 量が計りやすい

タブレットやペレット状にすると計数による定量ができ、粉体より量が計りやすくなる

第8位 外観がきれい

造粒品は外観が美しく商品への信頼も高める効果がある

第9位 除放性にすぐれる

粒表面に皮膜を形成するコーティング造粒では、皮膜によって粒成分の溶け出す量や時間をコントロールできる(除放性)

第10位 機能製品の開発が可能

マイクロカプセルなど、ターゲットを絞り込んだ機能製品の開発ができる

参考資料 化成品事業部門（クニピア）について

「クニピア」の特徴

(1) 高い粘性・膨潤性・チクソトロピー性を持っています。

モンモリロナイトは層間（単位層と単位層の間）に水分子を取り込み、層間隔が大きくなる特性があります。これを膨潤性と呼びますが、モンモリロナイトはこの膨潤性が非常に高いほか、粘結性、チクソトロピー性、陽イオン交換性、吸着性など数々の特異な性質を有しています。しかも、クニピアは化学物質を一切添加していない、また有害元素などをほとんど含まない無害鉱物です。分散体はサラッとしていて粘着や糸引きがありません。



クニピア分散液

(2) 安全で腐らない、安定した無機コロイドです。

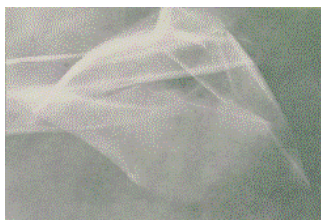
モンモリロナイトは水中で膨潤して、単位層まで分散すると考えられています。従って、水とクニピアの比率を変えることによって、低粘度の分散液から固いゲルまで、自由に粘度を調整することが可能です。また、クニピアは完全な無機コロイド粒子から成っているので、微生物による分解や変質作用を受けません。さらに薄いフィルム状の粒子で比表面積が大きく、陽イオン交換性を持っているため、様々な無機物や有機物をインターカレートするという特長もあります。



膨潤力測定

(3) 可能性あふれる層間化合物をつくることができる。

モンモリロナイトの結晶構造は、ケイ酸四面体層-アルミナ八面体層-ケイ酸四面体層と、3つの層が積み重なって一枚の結晶層を形成しています。この層の間に水が取り込まれて、例えば紙が水を吸って膨らむように膨潤していくというわけです。近年、この層間に水以外の分子なども取り込ませ、その空間を舞台にして未開の分野に挑戦しようと、新しい研究にも積極的に取り組んでいます。



走査型電子顕微鏡写真（5万倍）

「クニピア」の用途

(1) 医療品・化粧品・塗料

クニピアは日本薬局方「ベントナイト」・医薬部外品原料規格「ベントナイト」に準拠しており、エマルジョン安定剤やレオロジー改質剤として用いられます。人体に優しいということから、特に医薬品・化粧品などで活躍。なかでも化粧品では、皮膚の表面で水とともに薄いフィルムを形成、これで保湿性や伸展性、接着性が向上して、油脂分のべとつきを解消しサラッとした肌ざわりになるという効果が得られています。また、各種塗料の成膜性、拡がり性向上、タレ防止にもその力を発揮しています。

(2) 洗剤・液体農薬

吸着性をベースに応用されているのが洗濯用洗剤の分野です。これはモンモリロナイトが布に吸着されて、柔軟効果を発揮することを期待してのものです。また、液体を沈降させない増粘性、無機ゆえに腐らないという特長を利用して、長期に保存されることの多い液体農薬にも使われています。この他、ほとんど無害であるということと併せてハミガキペーストに、クリーナーではダレや流れの防止に、カーペットでは帯電防止に応用されています。

(3) 新しい層間利用分野

モンモリロナイトの結晶はナノレベルの板状構造です。昨今では、この特異な結晶構造の利用や、結晶の表面処理を行って、様々な分野への応用が期待されています。

例えば、樹脂フィラーとして耐熱性やガスバリア性を向上させたり、結晶層間に触媒機能を持つ元素を担持させたり、有機カチオンを結晶表面に修飾させて新しい機能を持たせたりと、その応用分野は多岐に亘ります。モンモリロナイトの層間利用は今後最も可能性のある分野だといえるかもしれません。

「クニピア」商品種類と特性

※特性は参考値であり規格値ではありません

	クニピアF
粘度	200~400mPa.s
膨潤力	45ml/2g以上
pH	10
水分	10%以下
白色度	60以上
外観	微粉末
カチオン交換能	115meq/100g

粘度：4%分散液 BM型粘度計 60rpm 25°C
白色度：ハンター白色度

本日はありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。



infinity